

沖縄県平和祈念資料館

沖縄県平和祈念資料館は、昭和50年に糸満市摩文仁に建設されました。平成12年4月、新資料館を建設し、現在も沖縄から平和の心を発信する場として利用されています。ここでは、平和祈念資料館の事業について広く紹介していきます。



学校の平和学習をサポート

平和学習の見学は無料
県内の小・中・高等学校、盲・聾学校及び養護学校の児童・生徒が平和学習で館内を見学する場合、観覧料を免除しています。

県内の児童・生徒たちに、沖縄戦や命の尊さについて考えてもらうため、当館では平和学習をサポートしています。

施設の使用料を免除

会議室・ホールを使用する場合は、「使用料減免申請書」を提出すると、使用料が免除されます（ただし、事前に調整が必要です）。会議室やホールでは、職員による展示解説やビデオによる平和学習などができます。

その他の学習サポート

- ・見学前に、沖縄戦の概要や展示の解説を行います。
- ・展示室と情報ライブラリー（図書室）を利用して、「総合的な学習の時間」などをサポートします。

音声ガイドが充実！

一階常設展示室の音声ガイド（日本語・英語）に、さらに三方国語（中国語・韓国語・スペイン語）を追加し、世界へ平和を発信しています。

平和学習のボランティア養成講座



ガマを見学するボランティア養成講座の受講者

来年度から活動を行います！

戦後五十九年が経過した今、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次の世代に伝えていくことが求められています。

そこで、今年度から当館では、学校及び地域における平和学習支援活動の中核となる人材を確保するため、ボランティアを養成しています。今年六月に募集した講座には六十三人の応募があり、現在三十二人がボランティア養成講座を受講中です。次年度も、引き続き講座を実施する予定です。

多くのみなさまのご参加をお待ちしています。

講座参加者の声

この講座は単に沖縄戦のことだけでなく、歴史や基地の現状、戦後史等沖縄のことが総体的に修得できます。これこそ私が探していたボランティア活動だと胸が弾みました。

悔いのない生き方をするために、精一杯頑張りたいと思います。

阿波連 本紀さん（六十一歳）

回数	分野	内容
1	開講式・オリエンテーション 平和祈念資料館展示室案内	・沖縄県平和祈念資料館について ・平和について日頃考えていること
2	平和祈念公園について	・平和祈念公園の概要
3	沖縄史概説①	・琉球・沖縄史（近代以前）
4	沖縄史概説②	・琉球・沖縄史（明治以降沖縄戦まで）
5	沖縄戦体験談① 平和教育の進め方①	・沖縄戦（陸軍病院）の思い出 ・中学校における平和教育の現状
6	沖縄戦概説①	・沖縄戦の諸相（1）
7	沖縄戦概説②	・沖縄戦の諸相（2）
8	戦後史特別講座① 話し方講座	・沖縄問題を考える ・広報と伝達—よりよい語り—
9	ガマ・戦跡めぐり①	・南部のガマ・戦跡めぐり ・中部のガマ・基地めぐり
10	ガマ・戦跡めぐり②	・伊原第三外科壕の惨状 ・解散前夜の伊原第一外科壕
11	沖縄戦体験談②③ ひめゆり資料館視察	・戦後沖縄の歴史 ・母親の立場で沖縄戦を体験して
12	戦後史概説	・戦後沖縄と国際関係（仮題）
13	沖縄戦体験談④ 戦後史特別講座②	・私は青酸カリを飲まれた（仮題） ・沖縄県内の基地の現状
14	沖縄戦体験談⑤ 沖縄県内の基地の現状	・私の戦後史 ・小学校における平和教育の現状
15	戦後史特別講座① 平和教育の進め方②	・戦後の米軍と琉球大学（仮題）
16	戦後史特別講座② ボランティア組織についての話し合い	・戦後を女性の立場から見つめて（仮題） ・次世代の沖縄戦継承（仮題）
17	戦後史特別講座③ 戦後史特別講話④	・世界遺産について
18	沖縄の文化財	・世界遺産めぐり
19	文化財めぐり	・修了証交付
20	閉講式	



・社会復帰した金城幸子さん
(左から2番目)とご家族

金城さんはご主人と子どもから「裁判をやるなら堂々と名前を出して、信念を持ってやれ」と励まされ、裁判に立ち向かいました

子ども・プロセス企画展 「ハンセン病から 人権を考える」

一九〇七年(明治四十年)の「癩予防ニ関スル件」の制定により、ハンセン病患者が強制隔離されたことで、ハンセン病患者及び元患者は偏見を持たれ、差別にあつてきました。しかし、一九九六年には「らい予防法」が廃止され、二〇〇一年(平成十三年)に裁判所は、「国の隔離制作は誤りである」との判決を下しました。今後は、ハンセン病回復者の名誉回復や、社会生活支援等を取り組んでいくことが大きな課題となっております。

人権週間に合わせて今回の企画では、フリーカメラマンの八重樫信之氏の協力により、ハンセン病回復者の写真展を開催します。

この機会にハンセン病を正しく理解し、人が生まれながらに等しく持っている基本的人権について考えてみましょう。

期間：平成16年12月4日(土)から
平成17年1月15日(土)まで
時間：午前9時から午後5時まで
場所：平和祈念資料館1階
ひろば・ゆいま～る
入場料：無料
月曜日は休館

人権のうたコンテスト

コンテスト出場者募集要項

- 参加資格：
県出身か、県内在住の中学生以上、または22歳未満のアマチュアのソロ、ユニットで、音楽事務所に所属していないこと。
- 応募作品：オリジナルの未発表作品に限る
- 応募要領：
指定の応募用紙にプロフィールを記入し、写真とデモテープ(CD、MD、VTR、カセットテープいずれも可)、歌詞を添えて、当館あてに郵送または持参。
- 選考日程：
・募集期間 平成16年11月15日(月)から
12月28日(火)(必着)
- ・1次審査 平成17年1月9日(日)
(デモテープ審査により20組選出)
- ・2次審査 平成17年1月30日(日)
(生演奏審査により10組選出)
- ・最終審査 平成17年2月13日(日)
(グランプリ1組、準グランプリ2組、審査委員特別賞1組選出)

最終審査は公開審査です

整理券250枚を発行します。入場希望の方は、往復八ガキでお申し込みください(1月28日必着)。応募多数の場合は抽選を行います。

日時：平成17年2月13日(日)
午後1時から午後4時まで
場所：平和祈念資料館平和祈念ホール
特別ゲスト：ストリートダンスチーム
「大化の改新」「BUMRUSH」(予定)
入場料：無料

お問い合わせ 沖縄県平和祈念資料館 〒901-0333 糸満市摩文仁614-1
TEL.098-997-3844 FAX.098-997-3947

アマチュアの方を対象に、人権啓発・擁護についてメッセージ性があり強い感動・共感を呼ぶ歌を募集します。コンテスト入賞者には、賞状・トロフィーを授与、入賞作品はCD化し、県内の小中高校に配布します。たくさんの方の応募をお待ちしています。



平和のつどい ～折り鶴への点火～



平成15年度の平和のつどいの様子

子どもたちが自分らしく生きることのできる平和な世界と未来を願って、一年間に当館に寄せられた折り鶴に火をともし、沖縄から平和を推進します。

日時：平成17年2月13日(日)
午後4時から午後5時まで
(人権のうたコンテスト終了後)
場所：平和祈念資料館屋外広場
入場料：無料

絵画の部・最優秀賞作品



馬天小学校 上原早紀さん 三和中学校 外間智恵さん 普天間高校 知念奈峰子さん

詩の最優秀賞作品のうち一点は、毎年、慰霊の日の沖縄全戦没者追悼式で本人により朗読される他、入選作品の中には本に掲載されたり、歌詞に採用され、CD化された作品もあります。

県内の児童生徒のみならず、あなたも沖縄から世界に平和のメッセージを発信しませんか！

この「児童・生徒の平和メッセージ事業」では、平成十六年度、絵画五百四十九点、詩七百六十六点、作文二百四十四点の合計千四百五十九点の応募がありました。

入選作品については、県内四カ所で開催した「児童・生徒の平和メッセージ展」で公開されました。

児童・生徒の 平和メッセージ 事業

子どもたちの平和メッセージを伝えるため、平和祈念資料館では県内の小・中・高等学校や特殊教育諸学校から絵画、作文、詩を募集し、本島・宮古・八重山で展示を行いました。

平和を愛する心を描いたり、あるいは文章にする。そうやって生まれた作品は、世の中に発信されることで多くの人の胸を打ちます。

子どもたちの平和メッセージ事業

第5回特別企画展 寄贈・寄託品展

「語りかける歴史の証言者たち」



尋常小学校卒業証書



鉄かぶと



戦後使用されていたB円(B型軍票)



戦前・戦中・戦後の沖縄の写真や戦争関連の実物資料など約三百点の資料が、戦争の実相と平和の意味をあなたに語りかけます。

平和祈念資料館では、開館以来これまで多くの方々から資料を寄贈・寄託していただきました。これらの資料は、戦時体制下のくらしや沖縄戦の遺留品、さらに米国統治下の沖縄に関するものなど、本島の苦難の歴史を物語る貴重なものです。当館では、資料を寄贈・寄託していただいた方々へ感謝するとともに、今回、その資料を広く一般公開します。

資料提供のお願い

戦後五十九年が経ち、戦争を知らない戦後世代へ悲惨な戦争の教訓を語り継いでいくためには、戦争や戦中・戦後の生活を語る資料等がますます重要な役割を果たします。

このような資料をお持ちの方は、ぜひ、資料提供にご協力をお願いします。

期間及び場所
(平和祈念資料館企画展示室)
平成16年10月1日(金)から12月19日(日)まで
(八重山平和祈念館)
平成17年1月11日(火)から2月27日(日)まで
どちらも月曜日は休館
時間 午前9時から午後5時まで
入場料 無料

